



## 2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年8月7日

上場会社名 日本製粉株式会社  
 コード番号 2001 URL <https://www.nippon.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 雅之  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 津田 尚之  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-3511-5307

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	83,387	3.9	2,527	24.7	3,348	17.8	2,295	29.2
2018年3月期第1四半期	80,274	2.3	2,027	28.1	2,841	19.6	1,777	34.4

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 2,966百万円 (39.3%) 2018年3月期第1四半期 4,887百万円 (273.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	28.80	27.48
2018年3月期第1四半期	22.15	22.12

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	285,784	155,724	52.8
2018年3月期	272,166	156,905	56.0

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 150,928百万円 2018年3月期 152,307百万円

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度の総資産及び自己資本比率は、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		15.00		15.00	30.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	175,000	8.9	5,500	22.2	6,300	14.9	4,000	12.6	49.84
通期	350,000	8.2	12,000	19.3	13,500	13.8	9,000	17.6	112.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	82,524,009 株	2018年3月期	82,524,009 株
期末自己株式数	2019年3月期1Q	3,845,672 株	2018年3月期	2,225,475 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	79,721,362 株	2018年3月期1Q	80,244,287 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善に支えられ、堅調に推移したものの、個人消費には力強さが見えず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品業界においても、消費者の節約志向を背景に市場が伸び悩んでおり、価格競争が継続する一方で、労働力不足によるコスト増など、事業環境は厳しさを増しております。

このような環境の下、当社グループはコスト削減と販売の増加を軸に、従来の基本施策を踏襲した事業基盤の強化を進めております。自動化の推進などを通じて生産効率を改善しているほか、グループ会社における食品工場の新増設や事業用地取得といった生産拠点の再構築にも積極的に取り組んでおります。

こうした成長戦略をさらに推進するため、本年6月、2025年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債を発行し、同時に株主還元の充実と資本効率向上を目的として、自己株式の取得を進めております。

以上により、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は833億8千7百万円（前年同期比103.9%）、営業利益は25億2千7百万円（同124.7%）、経常利益は33億4千8百万円（同117.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億9千5百万円（同129.2%）となり、すべてのセグメントで増収増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## ①製粉事業

当社グループは、食の安全・安心志向の高まりを受けて、品質管理の強化に努めるとともに、お客様のニーズや食の多様化に対応した課題解決型営業の推進に注力しております。さらに、各種展示会への出展、経営セミナーをはじめとする全国各地の講演会、講習会の開催など、活発な営業活動を展開しました。その結果、小麦粉および副製品のふすまは、販売数量・売上高とも前年同期を上回りました。

なお、本年4月に外国産小麦の政府売渡価格が5銘柄平均（税込価格）で3.5%引き上げられたことに伴い、本年6月20日出荷分より業務用小麦粉の販売価格を改定しております。

以上により、製粉事業の売上高は251億2千6百万円（前年同期比105.1%）、営業利益は13億9千7百万円（同124.9%）となりました。

## ②食品事業

業務用食品では、各種展示会への出展やイタリア料理技術講習会の開催など、積極的なマーケティング活動を展開した結果、業務用プレミックスの販売は国内外とも好調に推移しました。

家庭用食品では、店頭の出場提案等を積極的に推進し、基幹商品の拡売を図りました。また、プレミアム・パスタブランド「REGALO（レガーロ）」について『宝塚歌劇宙組 貸切公演』ご招待キャンペーンを展開しております。これらの結果、売上高は前年同期を上回りました。

冷凍食品類では、主力商品である「オーマイプレミアム」シリーズが堅調だったほか、単身世帯・共働き世帯に好評なトレー入り冷凍米飯「いまだきごはん」シリーズや、主食と主菜が一度に食べられる「よくばりプレート」シリーズが引き続き好調に推移した結果、売上高は前年同期を上回りました。

中食事業では、前年における生産拠点の新増設により販売が拡大しました。また、本年においても、愛知県知多市で新工場建設を進めております。その結果、中食関連食品の売上高は前年を上回りました。

以上により、食品事業の売上高は489億6千7百万円（前年同期比102.2%）、営業利益は10億9千1百万円（同123.0%）となりました。

## ③その他事業

エンジニアリング事業は、大口工事の引き合いが増加した結果、売上高は前年を上回りました。

以上により、その他事業の売上高は9億2千4百万円(前年同期比110.1%)、営業利益は3億7百万円(同342.0%)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産残高は、前連結会計年度末に比べ1億3千6百万円増加し、2億8千57万8千4百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が1億5千066百万円、投資有価証券が1億9千6百万円増加したこと及び原材料及び貯蔵品が2億2千5百万円減少したことによるものです。

負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1億4千799万9千9百万円増加し、1億3千006万6千円となりました。この主な要因は、転換社債型新株予約権付社債が2億5千233万9千円増加したこと及び支払手形及び買掛金が2億6千744万9千円、未払法人税等が1億8千44万9千円、長期借入金が1億2千888万9千円減少したことによるものです。

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1億8千9万9千円減少し、1億5千572万4千円となりました。この主な要因は、利益剰余金が1億8千99万9千円、その他有価証券評価差額金が7億7千9万9千円増加したこと及び自己株式を3億9千888万9千円取得したことによるものです。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度末の数値は、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で比較を行っております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績予想につきましては、2018年5月10日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想の数値から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,392	38,398
受取手形及び売掛金	45,303	45,116
商品及び製品	14,481	14,263
仕掛品	165	188
原材料及び貯蔵品	18,310	16,059
その他	3,663	2,937
貸倒引当金	△172	△164
流動資産合計	105,143	116,799
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,569	33,376
機械装置及び運搬具(純額)	17,636	17,356
土地	37,373	37,500
建設仮勘定	2,442	2,625
その他(純額)	1,846	1,829
有形固定資産合計	92,867	92,687
無形固定資産		
のれん	769	724
その他	654	641
無形固定資産合計	1,424	1,365
投資その他の資産		
投資有価証券	66,854	68,051
その他	6,499	7,427
貸倒引当金	△624	△631
投資その他の資産合計	72,730	74,847
固定資産合計	167,022	168,900
繰延資産	—	84
資産合計	272,166	285,784

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,200	27,526
短期借入金	22,528	21,538
1年内償還予定の社債	5,000	—
未払法人税等	2,466	625
賞与引当金	611	542
その他	16,867	16,994
流動負債合計	77,675	67,227
固定負債		
社債	5,000	5,000
転換社債型新株予約権付社債	—	25,123
長期借入金	12,075	11,670
退職給付に係る負債	4,530	4,321
役員退職慰労引当金	808	778
その他	15,170	15,938
固定負債合計	37,585	62,832
負債合計	115,261	130,060
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,240	12,240
資本剰余金	11,415	11,413
利益剰余金	103,522	104,611
自己株式	△2,635	△5,734
株主資本合計	124,542	122,530
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,495	28,265
繰延ヘッジ損益	△14	10
為替換算調整勘定	725	503
退職給付に係る調整累計額	△440	△381
その他の包括利益累計額合計	27,765	28,397
新株予約権	211	231
非支配株主持分	4,385	4,564
純資産合計	156,905	155,724
負債純資産合計	272,166	285,784

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	80,274	83,387
売上原価	58,703	60,450
売上総利益	21,571	22,936
販売費及び一般管理費	19,543	20,409
営業利益	2,027	2,527
営業外収益		
受取利息	14	15
受取配当金	656	662
その他	273	249
営業外収益合計	944	927
営業外費用		
支払利息	64	59
為替差損	23	—
その他	42	47
営業外費用合計	130	106
経常利益	2,841	3,348
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除売却損	21	21
投資有価証券評価損	99	1
その他	53	4
特別損失合計	174	27
税金等調整前四半期純利益	2,667	3,321
法人税、住民税及び事業税	280	503
法人税等調整額	528	486
法人税等合計	809	990
四半期純利益	1,858	2,331
非支配株主に帰属する四半期純利益	80	35
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,777	2,295



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	1,858	2,331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,960	772
繰延ヘッジ損益	20	25
為替換算調整勘定	△87	△220
退職給付に係る調整額	136	59
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△1
その他の包括利益合計	3,028	634
四半期包括利益	4,887	2,966
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,802	2,928
非支配株主に係る四半期包括利益	84	37

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,905	47,924	71,829	8,444	80,274	—	80,274
セグメント間の内部売上 高又は振替高	455	162	618	596	1,214	△1,214	—
計	24,361	48,087	72,448	9,041	81,489	△1,214	80,274
セグメント利益	1,118	887	2,006	10	2,017	10	2,027

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額10百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉事業	食品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	25,126	48,967	74,093	9,294	83,387	—	83,387
セグメント間の内部売上 高又は振替高	451	177	629	573	1,202	△1,202	—
計	25,577	49,144	74,722	9,867	84,590	△1,202	83,387
セグメント利益	1,397	1,091	2,488	37	2,526	1	2,527

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、健康食品類、エンジニアリング等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。